

社会福祉法人妻有福祉会・社会福祉法人十日町福祉会合同企画

シンポジウム

『これからの障がいサービスの姿を考える』
～家族の視点を通しての提案～



新春ふれあいコンサート

令和3年12月18日(土)
14:05～16:00
十日町市手をつなぐ育成会
会長 柳 洋治

本日の内容

- ①十日町市手をつなぐ育成会の歩み
- ②十日町市手をつなぐ育成会活動の紹介
- ③保護者、家族から見える市内の障がい者サービスの現状
- ④保護者、家族のかんがえていること・サービス作りに望むこと
- ⑤手をつなぐ育成会から福社会・行政への提言

手をつなぐ育成会の歴史

- ・昭和27年 知的障がい児の母親3人が『この子たちの生きる場所が無い』と声を上げ精神薄弱児親の会を立ち上げた。70年の歴史。
その後、全国で会が結成された。
当初の名称は『手をつなぐ親の会』
- ・新潟県の歴史
昭和34年 新潟県精神薄弱児育成会として設立
(当初市町村団体は6カ所)
平成9年 社団法人新潟県手をつなぐ育成会に変更
平成25年一般社団法人化
寺泊白岩コロニーの里建設などの陳情。
- ・十日町市の歴史
昭和35年十日町 昭和44年津南町に特殊学級後援会として発足された。
昭和54年『十日町市手をつなぐ親の会』設立
平成23年『十日町市手をつなぐ育成会』に名称変更

①活動紹介（十日町市手をつなぐ育成会） 年間行事

- ・雪まつりでの『焼きとうもろこし販売』昭和49年より今年で47年間。
収益を施設に寄付（総額600万円）
- ・新春コンサート 平成25年より来年で10回目。
令和4年1月23日（日）14:00開演 一般市民も入場無料
- ・食事作法の会 レストランでの洋食
- ・ボランティア活動 駅西や情報館脇公園の清掃など



雪まつり 焼きとうもろこし販売



グリーンロード 落ち葉清掃

・ほかの活動紹介

『土曜会』目的 障がい児者の余暇活動支援

内容 ・音楽（歌・トリミック）・宿泊体験（夏休み・身障者センター利用）
・駅西清掃活動など

『みちくさの会』目的 『地域と共に』をめざして

内容 ・一般市民参加の講演会・映写会

講師 惣万佳代子氏 民営のデｲクサービス「このゆびと一まれ」開所
子供とお年寄りがひとつの屋根の下で暮らす『富山型デｲクサービス』を提供
講演後のアンケート ・十日町にもこんな施設が欲しい
・こういう施設に勤めたいの声

福井達雨氏 1962年「止揚学園」設立（重度知的障がい児のため）

（たつう） 学園運営のほか、障がい児への差別・偏見をなくす為の活動
講演／アジア・ヨーロッパ各地 著書多数

1978年 養護学校設置義務化反対 選択の自由を奪うことへの反対活動

山田晴子氏「NPO法人ちばMDエコネット代表」

ドキュメンタリー映画「ひなたぼっこ」製作

徳田 茂氏 1974年障がい児通園施設「ひまわり教室」設立

2001～2014年「障害児を普通学級へ 全国連絡会」代表

・スペシャルオリンピックス日本（有森裕子氏会長）

冬季世界長野大会ボランティア参加

・ドキュメンタリー映画「エイブル」「ホストタウン」映写会

・「1/4の奇跡」映写会 山元加津子氏（養護学校教諭）のドキュメンタリー

・第25回新潟県手をつなぐ育成会十日町大会記念中止 代替記念事業DVD作製

2021年11月20日（土）中央公民館段十ろう



ダウン症右手先端欠損 鈴木凜太郎氏親子によるピアノ演奏と講演の収録

③保護者・家族から見える市内の障がい者サービスの現状

- ・脳障害によってさまざまな身体障がいや自閉スペクトラム症や発達障がいの人が増えている。

「1歳までしか生きれない」と言われた子供も長寿になっている。

- ・障がい者は高齢化し、サービスの多様な支援が必要となってきた。

自立支援法（平成18年）施行で生活介護・就労支援・就労移行サービスと種類も増え、それぞれに対応したサービスを選べるようになり使いやすさ、安心感も増した。

- ・子供たちへの対応も発達支援センター設立や・放課後デイサービスなど充実してきた。

④保護者・家族の考えていること、サービス作りに望むこと

- ・通所では120日の休日が、重度障がい者には負担になっている。

休日支援の延長。通所日数の増加を望む。

- ・ショートステイは市内唯一「なかまの家」しかない。現状は老朽化・冬季交通の便・段差の多さ・迷路のような間取り。建て替えを検討してほしい

- ・障がい者の気持ち一番に考えて大切にしてほしい

障がい者は意思表示が苦手 様々な感情があるのに気持ちを汲み取ってほしい

⑤手をつなぐ育成会から福祉・行政への提言

- ・障がい者は増えているのでは？高等学校卒業後の就労施設の確保＝卒業後の支援
 - 大人になってからのフォローが大切
- ・障がい者施設と老人融合福祉施設の希望→親子一緒に住める施設を望む（惣万氏の事例）
- ・親亡きあとや、緊急時に対応する地域生活支援機能を備えた施設が必要。
- ・休日支援などの充実→使いやすいショートステイが欲しい
- ・人出不足の対応→ボランティアの人員確保（高齢者・学生・高校生など）
- ・なかまの家の建て替え→市街地中心地に。地域交流の場にしてほしい。